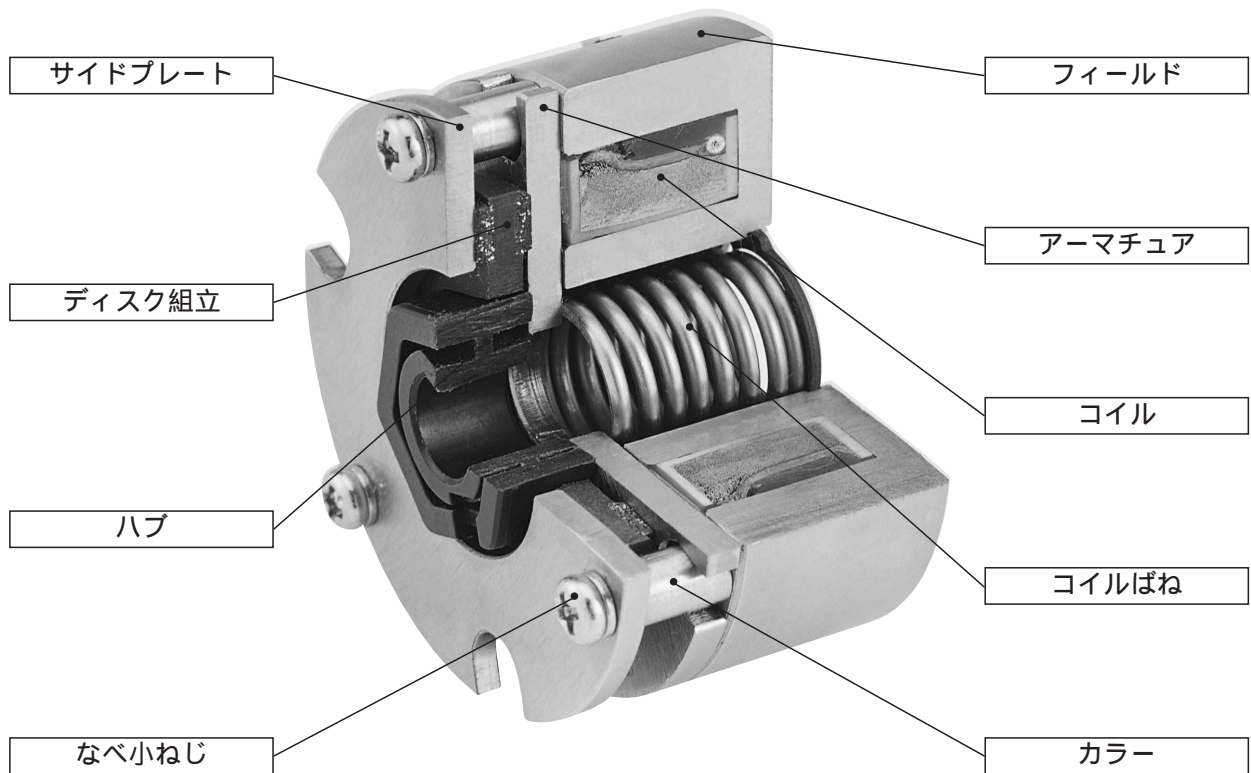


# 構造と動作

励磁コイルを内蔵したフィールドにアーマチュア、ディスク組立及びサイドプレートが、カラーを介してなべ小ねじで取付けられています。アーマチュアはフィールドとわずかな空隙を隔ててカラーによって支持され、フィールドに内蔵したコイルばねの荷重を受け、ディスク組立を圧着しトルクを発生する構造となっています。

ディスク組立の内径部には六角形状のハブがかん合しています。

コイルに通電すると、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。励磁を切るとアーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクを圧着し、急速にブレーキがかかります。



MCNB形 無励磁作動ブレーキ

## 形式表示

**MCNB 2 G S**

形式記号

MCNB : マイクロ無励磁作動ブレーキ

トルクサイズ

2: 0.2 N・m  
5: 0.5 N・m  
10: 1 N・m

機能記号

S : 制動ブレーキ  
R : 保持ブレーキ

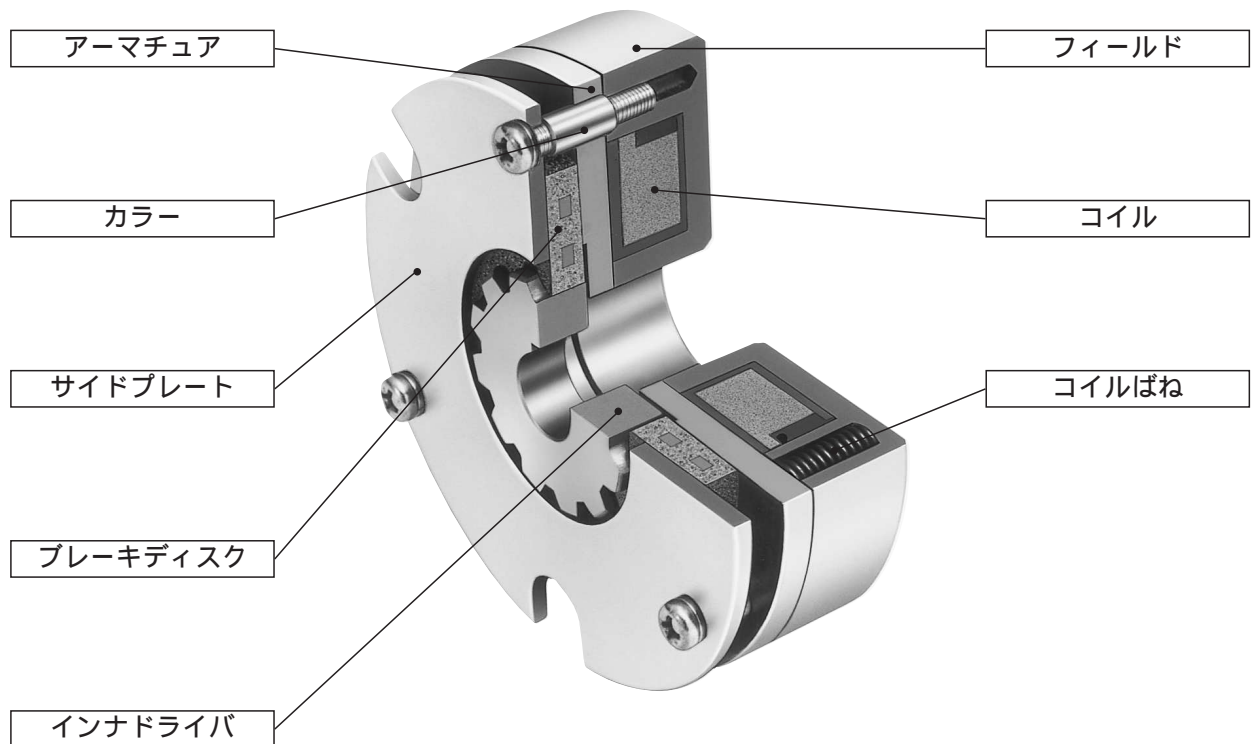
電圧記号

G : DC24V  
K : DC90V

# 構造と動作

フィールドにカラーを介してボルトで固定されたサイドプレートとカラーで支持されたアーマチュアの間にあるブレーキディスクをコイルばねで圧着し、トルクを発生する構造になっています。ブレーキディスクのスプライン部にインナドライバがかん合しています。

コイルに通電するとアーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。励磁を切るとアーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクを圧着し、急速にブレーキがかかります。



SNB形 無励磁作動ブレーキ

## 形式表示

**SNB 5 G**

形式記号

SNB : 無励磁作動ブレーキ〔制動用〕

電圧記号

G : DC24V  
K : DC90V

トルクサイズ

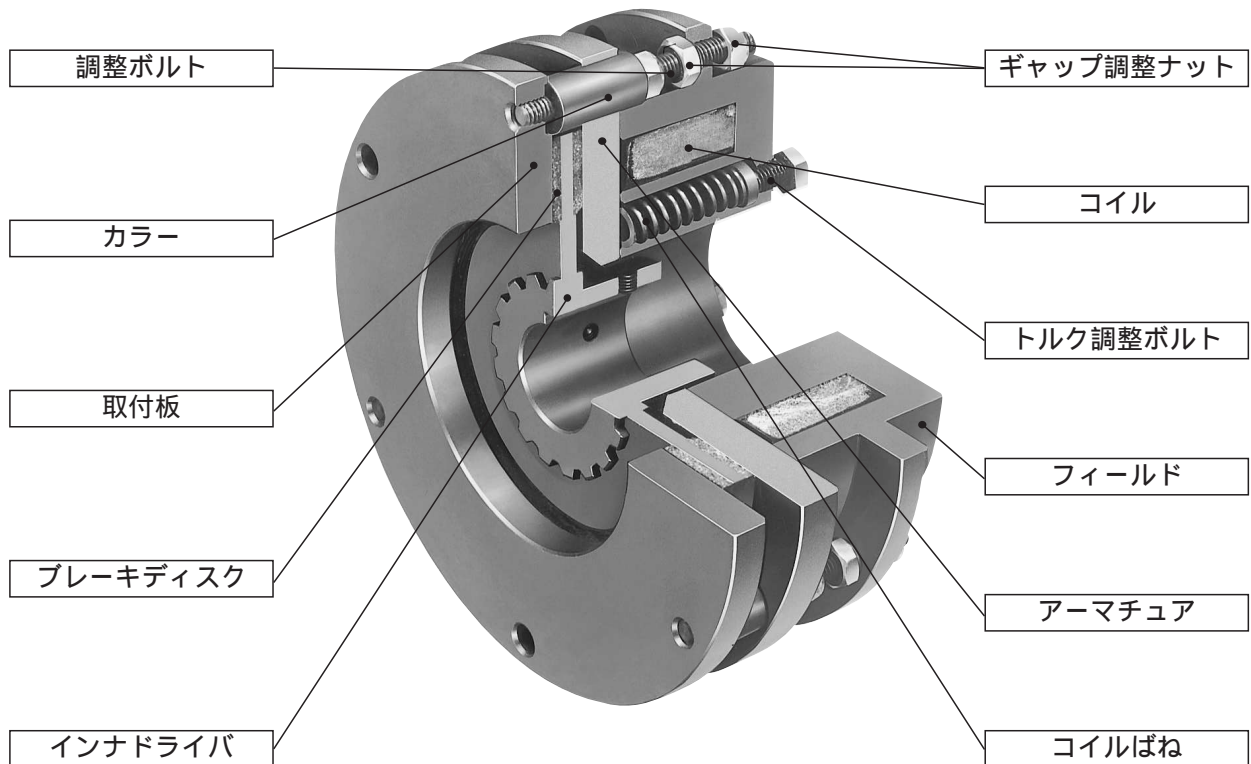
# 構造と動作

取付板に固定されたカラーにアーマチュアが支持され調整ボルトにフィールドが取付けられています。ブレーキディスクは取付板とアーマチュアの間であり、コイルばねで圧着されトルクを発生する構造になっています。ブレーキディスクのスプライン部にインナドライバがかん合しています。

またMNB形には、トルク調整、ギャップ調整

及び手動解放機構が付いています。

コイルに通電するとフィールド、アーマチュア間に磁束が生じ、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。励磁を切るとアーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクを圧着し、急速にブレーキがかかります。



MNB形 無励磁作動ブレーキ

## 形式表示

# MNB 10 G

形式記号

MNB : 無励磁作動ブレーキ

電圧記号

G : DC24V

J : DC72V

K : DC90V

トルクサイズ

# 構造と動作

フィールドにはカラーがボルトで固定されています。

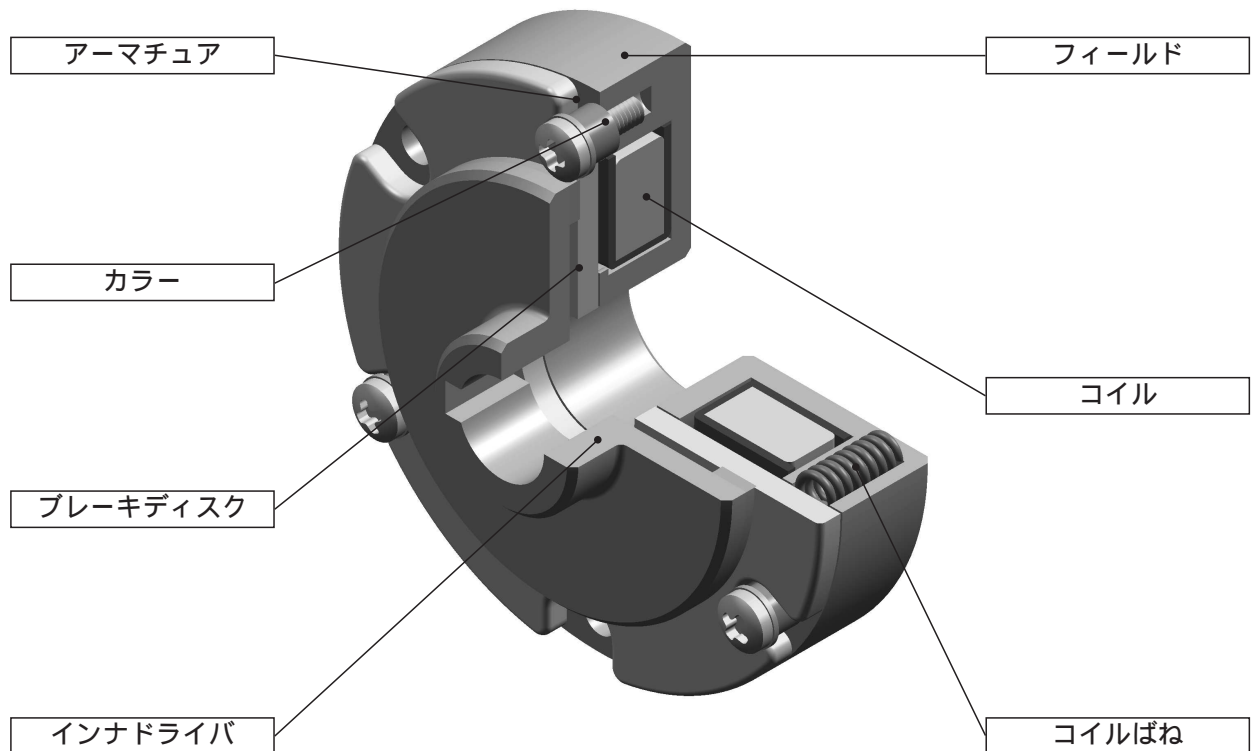
カラーによって支持されたアーマチュアにはブレーキディスクが接着されており、軸方向のみに移動できます。

アーマチュアがコイルばねの力を受けると、ブレーキディスクは相手軸に固定されたインナドライバに圧着され、トルクが発生する構造に

なっています。

コイルに通電するとフィールド、アーマチュア間に磁束が生じ、アーマチュアはフィールドに吸引され、ブレーキは解放します。

励磁を切るとアーマチュアはコイルばねの力でブレーキディスクをインナドライバに圧着し、急速にブレーキがかかります。



FNB形 無励磁作動ブレーキ

インナドライバは付属しておりません。ご要望により特殊製作いたします。

## 形式表示

**FNB 0.2 G**

形式記号

FNB : 無励磁作動ブレーキ〔保持・非常停止用〕

電圧記号

G : DC24V  
K : DC90V

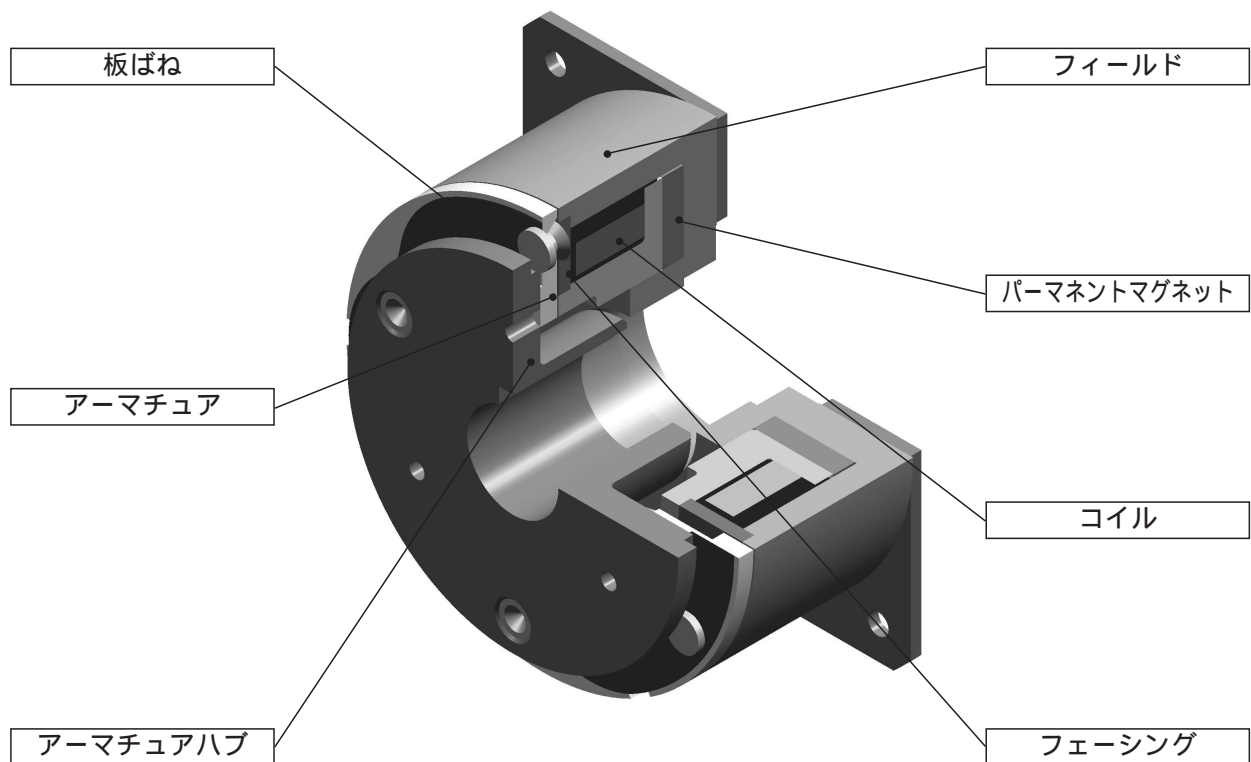
トルクサイズ

# 構造と動作

コイルとパーマネントマグネットを組み込んだフィールド（固定部）とアーマチュア組立（回転部）から構成されています。

パーマネントマグネットによる磁束を打ち消すようにコイルに通電すると、フィールドの吸引力が消滅しアーマチュアは板ばねの力により

フィールドから切り離され、ブレーキは解放します。励磁電圧を切るとパーマネントマグネットの磁束により、アーマチュアがフィールドに吸引され、急速にブレーキがかかります。



PNB形 無励磁作動ブレーキ

## 形式表示

**PNB 5 A**

形式記号

PNB : パーマネントマグネットタイプ無励磁作動ブレーキ

アーマチュア方式

A : オートギャップ式

B : 板ばね駆動式

トルクサイズ

# 構造と動作

コイルを内蔵したフィールド（静止部）は玉軸受で支持されています。

ロータ（回転部）と一体化になったアウトドライバにはアーマチュア、アウトディスクがラゲかん合され、インナディスクを交互に入れた後に調整ナットがネジ結合されています。

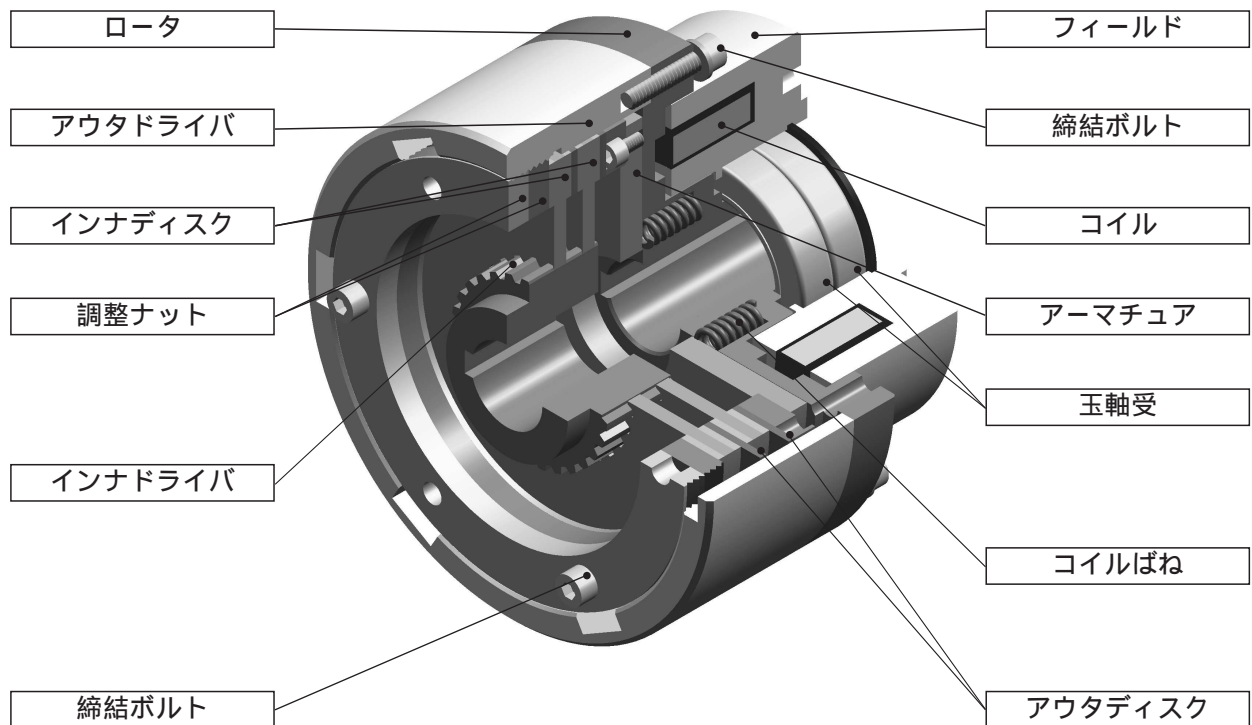
調整ナットはロータに内蔵されたコイルばねの力を受けています。

また、インナドライバはインナディスクとスプラインかん合しています。

コイルばねの力はアーマチュアを介してアウトディスク、インナディスクに伝わり圧着され、トルクを発生する構造となっております。

コイルに通電するとフィールド、ロータ及びアーマチュア間に磁束が生じ、アーマチュアはロータに吸引されクラッチは解放します。

励磁を切るとアーマチュアはコイルばねの力でロータから切り離され、アウトディスク、インナディスクは圧着されるのでクラッチは急速に連結します。



SMC形 無励磁作動クラッチ

## 形式表示

SMC 1.2

形式記号 \_\_\_\_\_ トルクサイズ

SMC : 無励磁作動クラッチ